

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

「みんなの大好物レシピ」



「大人になっても食べたい！」
と思う、王道レシピがたくさん。
甘辛しょうゆ味など、8つの味
別で見やすくなっています。

TAKANOSU LIBRARY

町立
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111

SASUJE LIBRARY

町立
指江図書館

TEL0996-88-6500



「明日はわが身
若年性認知症の夫と生きる」

南田佐智恵 著

50代の夫が若年性認知症になり
最愛の人が別人のように変わっ
ていった。愛と罵倒と悔恨の日々
を綴る壮絶な夫婦間介護日記。

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungo
ながしまぶんげい

創生短歌会

皿に残るわずかな醤油惜しむべしもう少し刺身食
べられる量 竹之内重信
人の背に従きて生き来し明け暮れの幸も不幸もま
ずまずにして 石原百合子
連れあいの亡きおみなごが手押車押しつつ道を上
りてゆけり 宮元 司
朝刊を配り来る人が家猫にしばらく話をして行き
にけり 村上 義彦
実を付けることのあらざる金木屋二度咲きをして
庭に匂いぬ 大塚 洋子
ペランダにサンダル一足乾きおり検査入院終えて
戻れば 野村 益信
作業着のとれたるボタン付けむとす針によろやく
糸を通して 山下 学

一般作品

〔短歌〕
白梅にウグイス鳴いて春の音わがふる里はなかな
かに良し 小林 貢
日暮れ空銀翼映えて飛機還る我家の屋根に迫り遠
のく 小林 繁
夕暮れの港に帰る舟ひとつ竿をかつぎて笑のすが
し 中飯屋辰子
朝毎に突き上げられしパンジーはひたすら耐へり
花壇の中で 母木 良平
何事も気にする無きと成す事よやる気成くなり事
終まらぬ 町田 末則
〔俳句〕
揚雲雀黒き大地を風渡る 桐野 眞実

長島短歌会

畑より抱きかかへ来しキャベツ洗ふ大玉なるを喜
びながら 松元 睦子
夕暮れて庭の溜りに月映る諸もろ思ひ空に掌合は
す 市尾 操
節分の長閑な日の午後友逝けり寒の星空出でて見
上げる 岩下 ち江
昨日今日寒さの続く雪催いうすら薄らに夕日の沈
む 岩下 房代
雪被る椿の緑は色冴へて紅の蕾は柔らかく染む 榎平 頼子
人家なき峡の小さき川岸に吾は初めて露の臺摘む 米尾 和子
雪の朝足跡ありてたどりたれば吾を案ずる息子の
ものと知る 坂之下典子
雪降るを喜びをりし亡き夫の笑顔に出逢ふ朝の寝
覚めに 中山タマエ
朝日差す敷陰のなか芍薬の赤き芽出でしに涙滲み
ぬ 濱田美代子
久びさの夜来の雪に片なびく葉群れ抜き出で水仙
匂ふ 浜畑 松枝

明神俳句会

巖青き降臨の峰若菜摘む 淵脇 護
御降りる硯に少しいたききぬ 山寄加代子
桜島句碑の重さに息白し 大堂 光幸
初空や飛べない翼ひろげみる 迫口 君代
冬ざれの海に束の間虹の橋 関 佳代美
天草の岬に浮かぶ初夕日 二階堂恵子
大寒の親指に貼るカットバン 二階堂妙子
四日はや出荷の鶏を抱き抱え 大堂 早苗
初便り古き縁と嬰の笑顔 山田 哲夫
十万羽とさかゆらゆら初日差し 筑前 初市
海原も白波立てて寒に入る 坂口 静子
ぼんたんの香りほのかな鱒とどく 大堂 正弘